

保育活動専門員  
認定制度  
対象研修会  
200ポイント

ライブ配信

## 全国保育協議会

令和3年度

## 認定こども園研修会

〈開催要項〉

## 1 &gt;&gt;&gt; 趣 旨

新型コロナウイルス感染症により社会が大きく変化し、昨年度の出生数は統計を取り始めて以降最も少なくなるなど、少子化がさらにすすむことが予想されています。厚生労働省の統計では、保育所の利用児童数は令和7年にピークを迎え、以降横ばいに推移することが見込まれるなど、保育所とともに認定こども園の運営は大きな転換期に差しかかっています。

「地域の子育て支援」が義務となっている認定こども園は、今後子どもの数が減少するなか、地域の子育て拠点としての役割発揮に向けての期待がより高まります。一方で、コロナ禍においては、地域における子育て家庭との接触を制限せざるを得ず、日常的な関わりが薄くなりつつある現状もあります。

本研修会では、最新の施策動向と関連講義とともに、グループワークによる参加者同士の情報共有と意見交換を行いながら、具体的な取り組みの現状や課題を共有し、今後の展望や運営のあり方について考えます。

## 2 &gt;&gt;&gt; 日 時

令和3年 **12月20日** [月] 12:50~17:30

## 3 &gt;&gt;&gt; 開催方法

**Zoomを使用したオンラインによるライブ配信**

- ・パソコンやインターネット環境はご自身でご準備ください。
- ・パソコン1台 (1回線)につき、1名の参加でお願いいたします。

## 4 &gt;&gt;&gt; 定 員

**120名** (定員になり次第、締切とさせていただきます)

## 5 &gt;&gt;&gt; 参加対象者

**幼保連携型・保育所型認定こども園の役職員**

(認定こども園への移行を検討している保育所の役職員も受講可)

## 6 &gt;&gt;&gt; 参 加 費

会員 **8,000円** / 会員ではない方 **13,000円**

## 7 &gt;&gt;&gt; 主 催

社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国保育協議会 / 全国保育士会  
(実施主体:全国保育協議会)

## 8 >>> プログラム

時間	項目	内容
11:50~	受付	
12:50~ (5分)	1. あいさつ	<b>開会にあたって</b> 全国保育協議会 会長 <b>奥村 尚三</b>
12:55~ (45分)	2. 行政説明	<b>認定こども園をめぐる動向</b> (仮題) <b>内閣府子ども・子育て本部</b> (予定) 内閣府担当官より、認定こども園をめぐる制度動向や令和4年度関連予算案概要等についてご説明いただきます。
13:40~ (60分)	3. 講義 I	<b>認定こども園における教育・保育のあり方について</b> (仮題) 神戸大学大学院 准教授 <b>北野 幸子</b> 氏 中央教育審議会初等中等教育分科会に「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」が設置され、令和3年7月より審議が開始されています。子どもの育ちにおいて、保幼小の連携は必要不可欠で重要なことであり、あらためて就学前の子どもに対し、教育・保育を一体的に行う認定こども園における教育・保育の今後のあり方を考えます。
14:40~		～ 休憩 (20分) ～
15:00~ (60分)	4. 講義 II	<b>人口減少地域の拡大と認定こども園におけるこれからの地域子育て家庭支援</b> (仮題) 関西大学人間健康学部人間健康学科 教授 <b>山縣 文治</b> 氏 人口減少地域の拡大が進むとともに、新型コロナが子育て家庭に大きな影響を及ぼし、地域の子育て支援が義務である認定こども園に求められる役割はますます重要なものになります。多様化するニーズに応えるための施設の多機能化や、虐待防止のための地域社会における子育て家庭への支援のあり方など、これからの認定こども園に求められる機能と役割を考えます。
16:00~ (90分)	5. グループワーク (意見交換)	<b>認定こども園の運営上の課題と今後の対応に向けて</b> 本研修会の行政説明・講義の内容を含めた認定こども園を取り巻く状況の変化を踏まえ、運営上の課題や今後の取り組みに関する共通テーマについて意見交換を行い、今後の取り組みのヒントを探ります。また、討議した内容については全体会で発表を行い、共有します。
17:30	6. 閉会	

## 9 >>> 参加までの流れ

- ① 参加申込サイトより参加申し込みを行います。
- ② 申込完了時に、登録されたメールアドレスに参加登録完了通知メールが配信されます。
- ③ ②の配信から1週間～10日以内に、メールで参加費の振込先等を案内いたします。
- ④ 上記②③のメールが届かない場合は、株式会社日本旅行まで必ずご連絡ください。
- ⑤ 参加費入金確認後、12月中旬頃に「セミナー (Zoom) URL」「セミナー資料掲載URL」を登録されたメールアドレスに送信します。  
資料は掲載URLからダウンロードしてください(印刷および郵送はいたしません)。
- ⑥ セミナー当日に「セミナー (Zoom) のURL」をクリックして、11:50～12:50の間にご入室ください。1人ずつ参加受付を行うため、早めにご入室をお願いいたします。

## 10 >>> 参加申込サイト

令和3年度 認定こども園研修会

[https://va.apollon.nta.co.jp/r3\\_nintei/](https://va.apollon.nta.co.jp/r3_nintei/)

## 11 >>> 参加申込締切

**令和3年11月22日 (月)**

参加申込サイトへは、全国保育協議会ホームページの「大会・研修会」からもアクセスいただけます。

## 12 >>> 留意事項等

- 参加者ご自身によるシステムトラブル、通信環境・接続の不具合等により本研修会に参加できなかった場合に、参加費の返金および動画データの提供はいたしません。
- 参加費入金後の参加取消は原則として返金対応をいたしかねます。
- ZoomのインストールなどによるPCトラブルについては対応いたしかねます。
- Zoomのインストールや使用は無料ですが、インターネット回線使用に関しては別途通信料がかかる場合があります。
- 講義等の録音・録画・撮影、および研修会資料の複写・転載等は固く禁止します。
- 個人情報の取り扱いについては次のとおりです。
  - ▶ 参加申込にあたりご入力いただいた個人情報は、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。
  - ▶ 本研修会の申込受付等に関する業務を株式会社日本旅行に委託し、上記の目的のため情報を共有します。

## 「保育活動専門員」認定制度について

全国保育協議会・全国保育士会では、平成19年度より、対象となる大会・研修会を一定回数以上受講し、レポートを提出した方に対して「保育活動専門員」認定証を発行しています。これまでに1,767名の方が「保育活動専門員」として認定され、全国各地の保育現場で活躍されています。

本研修会を受講された方に発行される受講証明書には、認定証の申請に必要な研修ポイント（200ポイント）が記載され、申請時に活用できます。

- ▶ 本セミナーの受講証明書の発行にあたっては、研修の参加について、受講者名に基づくログにより確認させていただきます。
- ▶ また、受講確認のため、必ずご自身のビデオをONの状態（自身の顔が映った状態）にして受講してください。

認定証の取得をめざし、本研修会への多くの皆さまの参加をお待ちしています。

※認定制度に関する詳細については、会報『ぜんほきょう』4月号（令和3年4月1日発行号）に同封の実施要項をご覧ください（全保協ホームページでもご覧いただけます）。



### お問い合わせ先

#### 講座の内容に関すること

#### 全国保育協議会事務局

(担当：下立・辻本)

〒100-8980 千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
社会福祉法人全国社会福祉協議会 児童福祉部内  
TEL：03-3581-6503（受付時間：平日9：30～17：30）  
FAX：03-3581-6509  
e-mail：zenhokyo@shakyo.or.jp

#### 受講申込等に関すること

#### 株式会社日本旅行 東京法人・コンベンション営業部

(担当：鈴木・田中・山口)

〒160-0017 東京都新宿区左門町16-1  
TEL：03-5369-4510（受付時間：平日10：30～16：00）  
※当面の間、時間短縮営業とさせていただきます。  
FAX：03-3225-1008  
e-mail：zenshakyo@nta.co.jp